

東日本大震災から2年 了。

が経過し復興に励む中で、あらためて人と人の絆が見直され、注目され

に臍の緒を母親に渡す習慣は産院により異なっている現状があります。わが国では臍の緒を出の下の埋めると家が栄える「女の子ならお嫁に持っている人は少なく、多くの人は桐でできた小箱に入れて家の筆筒のどこか奥の方にしまつてあり、中にはどこにしまつたか思い出せないという人もいるのではないでしようか。

県立看護大学 臨床看護学領域 母性看護学助教

中沢 紀代子

子宝に恵まれる」、また

## 臍の緒の小話

ています。絆にはさまざまなありますが、臍の緒といえは母親と赤ちゃんをつなぐ大切な絆の一つです。

の臍帯を3センチほど切つて保管用にとつておき、出れ、日本特有の伝統として引き継がれてきましに亡くなったときにひつぎ

ようか。

一般的に、赤ちゃんの臍の緒は生後7〜10日くらいでポロつと取れます。注意してないと気づかないうちに取れて、紙おむつについたまま捨ててしまう恐れがありま

保管されている人は、この機会に家のどこか奥の方にしまつてある臍の緒を取り出し、母と子のつながりを再確認してみ

ように、最近では出産後子が九死の状態になった大切にし、子どもの健や

活用法としては「その続く血のつながりと絆を